

中華人民共和国福建省

提携年月日

平成9年（1997年）9月4日

提携の動機及び経過

沖縄県と福建省の間には、600年にわたる長い交流の歴史がある。平成4年8月、沖縄県は福建省と共同で、琉球の先人が歩いた「進貢の道」を辿る「中国大陸3,000キロ踏査行」を実施した。この事業を機に、沖縄県から福建省に対し、友好県省提携を提案。双方で協議を行った結果、交流の実績を積んでから友好県省の締結を行うこととし、平成6年度から沖縄県・福建省サミットを開始。サミット合意に基づき農業、水産業、建設業、商業貿易、文化・学術、衛生・環境等の各分野での交流を活発に行うようになった。また、平成6年10月には、沖縄県と福建省の共同事業として、福建・沖縄友好会館の建設に着手した（平成10年7月落成）。このような経緯を辿り、平成9年9月に友好県省を締結した。



友好県省締結5周年の平成14年8月及び締結10周年の平成19年9月には、周年記念式典が福建省において盛大に開催され、県から三役をはじめ関係者が訪問し、両県省の友好交流の推進を確認した。15周年の平成24年には沖縄県と福建省の双方で記念式典の開催を予定していたが、日中関係緊張化の影響により、やむをえず中止となった。

福建省との人的交流について、沖縄県は平成7年度からこれまでに、アジア諸国等海外留学生及びウチナーンチュ子弟等留学生として28名を受け入れている。また、過去の事業では、平成10年度から平成24年度まで海外技術研修員を18名受け入れた実績がある。一方、福建省側では、平成9年度からこれまでに、9名の沖縄の留学生を受け入れている。

福建省の概要

福建省は中国の南東沿岸地区に位置し、台湾と海を隔て向かい合っている。面積は12万1千平方キロメートルで、沖縄県の約53倍である。人口は約3,839万人。漁業資源、森林資源が豊富である。2015年4月には自由貿易試験区が設置され、東アジアの新たな経済交流拠点として注目を集めている。

日本国沖縄県と中華人民共和国福建省 の友好県省締結に関する議定書

日本国沖縄県と中華人民共和国福建省は、日中共同声明の原則に基づき、両県省の友好協力関係をさらに強化、発展させるため、正式に友好省県として締結することに合意する。

双方は平等互惠のもとに、両省県の友好往来と経済貿易関係をともに促進し、科学技術、文化、体育、保健衛生、教育等諸分野における交流と協力を積極的に行い、両省県の繁栄と日中両国民の子々孫々の友好のために努力する。

本議定書は、ひとしく正文である日本語及び中国語により本書2通を作成し、署名の日をもって発行する。

平成9年9月4日

日本国沖縄県知事 大田昌秀